

災害対策本部の動き

2/13

23:47 災害対策本部設置
地域整備課町内パトロール開始

2/14

0:30 避難所開設（イコーゼ、役場）
0:55 防災無線で各町内会の被害状況確認
1:50 避難所開設（醸芳・睦合・伊達崎小、半田公民館）
広報車で避難所開設など呼びかけ開始
4:05 役場前に給水車を配置
6:00 アルファ米による炊き出し・配給
7:30 避難所閉鎖（醸芳・睦合・伊達崎小、半田公民館）
9:45 災害ごみ臨時受け入れ対応を周知
17:00 避難所閉鎖（イコーゼ）

2/15

8:30 り災・被災証明発行受付開始

2/16

5:00 避難所閉鎖（役場）

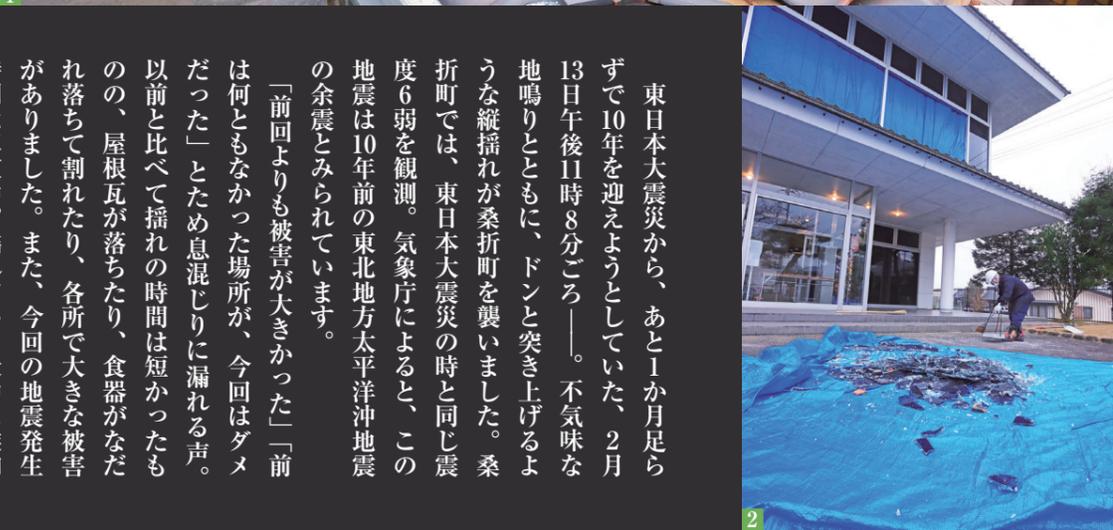
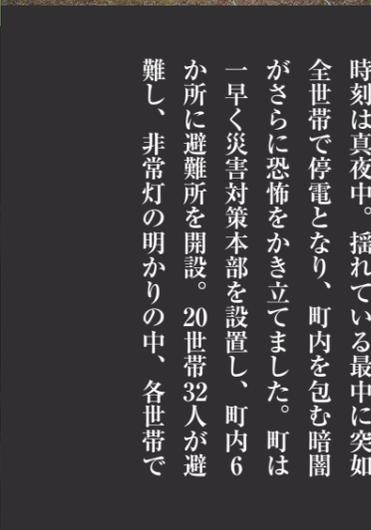
町の主な被害状況（2月22日現在）

項目	被害状況
人的被害	11人（重傷1人、軽傷10人）
住家被害	143件
非住家被害	94件
ブロック塀崩れ	42件
物的被害	
石垣崩れ	6件
道路の落石	4件
法面崩れ	2件
その他	14件

※住宅・非住宅被害件数は、り災証明申請件数による。



12 避難所のテレビで被害状況を確認 13、14 早朝から役場で水と食料を配給 15 エリアメールや防災無線、SNSなどで被災状況や町の対応を早急に周知



東日本大震災から、あと1か月足らずで10年を迎えようとしていた、2月13日午後11時8分ごろ――。不気味な地鳴りとともに、ドンと突き上げるような縦揺れが桑折町を襲いました。桑折町では、東日本大震災の時と同じ震度6弱を観測。気象庁によると、この地震は10年前の東北地方太平洋沖地震の余震とみられています。

「前回よりも被害が大きかった」「前は何ともなかった場所が、今回はダメだった」とため息混じりに漏れる声。以前と比べて揺れの時間は短かったものの、屋根瓦が落ちたり、食器がなだれ落ちて割れたり、各所で大きな被害がありました。また、今回の地震発生時刻は真夜中。揺れている最中に突如全世帯で停電となり、町内を包む暗闇がさらに恐怖をかき立てました。町は早く災害対策本部を設置し、町内6か所に避難所を開設。20世帯32人が避難し、非常灯の明かりの中、各世帯で

身を寄せ合って一夜を過ごしました。夜が明けると、平穏だった町並みは一変。いたるところでブロック塀が崩れ、道路に亀裂ができ、通行止めとなるところも。一部地域では断水被害もあり、早朝から役場で、水や食料を配給しました。また、町有施設にも地震の爪痕が――。旧伊達郡役所や旧役場分庁舎では、瓦が落下し、種徳美術館では、多くの展示ガラスが割れました。睦合公民館では、天井の蛍光灯が抜け落ちそうになるなど、各所で揺れの大きさを物語っていました。

1、2、3_ 甚大な被害を受けた種徳美術館 4_ 墓石が倒れた伊達朝宗の墓 5_ 駐車場へ瓦が散乱する旧役場分庁舎 6_ うぶかの郷は浴室などが被害を受け、臨時休館に 7_ がれきが道路をふさぐ 8_ 睦合公民館では天井の蛍光灯が落ちる寸前に 9_ 道路に亀裂が発生 10、11_ 今回の地震ではブロック塀被害が相次いだ

またか
よみがえる記憶

